

※意見交換の内容は、要約しています。
（太字は参加者の意見、細字は市長等の応答です。）

【意見交換を行った項目】

- 1 学校周辺の街灯について
- 2 水害について
- 3 自治会への補助金について
- 4 市長について
- 5 エスプラッツ東の水路について
- 6 たばこのポイ捨てについて
- 7 アーケードの照明について
- 8 どんどんの森（調整池機能）について
- 9 ライトファンタジーについて
- 10 神野公園と多布施川の桜について
- 11 公園の砂場について
- 12 佐賀の観光資源について
- 13 河川清掃について
- 14 山間部のバスの利便性について
- 15 佐賀の観光について

【意見交換内容】

1 学校周辺の街灯について

佐賀市の管理する街灯が切れたため、佐賀市の担当者に連絡しましたが、いまだに交換されません。

（市長）

早速、状況を速やかに確認して対応するよう職員に伝えます。

2 水害について

私は、災害の3分の2は人災じゃないかと思っています。

というのは、山には草が生い茂っていて人が入れない状態です。中山間地の田んぼは耕作放棄地で、田んぼダムの役割をしていません。それから、勸興小学校の前の堀は浅くなっていますが、浚渫しておらず、雨が降ると満水です。

新しい家や建物は、敷地を高くしているので、行き場のない水は全部道路に流れていきます。道路が冠水しないようにしてもらいたい。

（市長）

今までは、山が持つ機能、水源涵養力という言い方もされますが、日本の戦後における成長の

中で変わってきた状況ではないかなというふうに思います。そういう意味で、「災害」は河川が起こすのではなくて、流域、地形、自然条件、そういったものが起こすということです。いろんな関係者で知恵を絞っていくということが非常に大事であり、ご意見いただいたことを意識しながら議論していきたいとします。

3 自治会への補助金について

自治会長になって30年になりますが、後任として引き継いでくれる人がいません。原因の一つは、市からもらう補助金が安いということもあると考えています。

(市長)

自治会長を30年もやっていただいているということで本当にありがたいなと思ってお話を聞きました。自治会長の手当てが少ない金額であるにも関わらず引き受けていただき、本当にありがたいと思っています。

「なり手不足」の問題にも関係する話だと考えますので、自治会長さんや自治会の活動が今後も継続できるように皆さんとお話ししながら考えていきたいとします。

4 市長について

老人会の役員の方々から『若い市長さんを選んでよかった』ということをして市長さんに伝えてくれと』ということを言われてまいりました。今日はお話を聞いて本当に感動しました。

老人クラブは、地域を支えあう一員として「できることを工夫しよう」、時間がかかっても「継続してやっていこう」ということで、今頑張っています。一緒に頑張っていきたいと思っています。

(市長)

ありがとうございます。大変身に余るお言葉を頂きました。就任して2年半ほどなので、まだまだこれからだと思っています。頂いた言葉を励みに、もっと頑張っていきたいとします。

5 エスプラッツ東の水路について

エスプラッツ東側の水路は、水が流れていないので、川の水が余っているならどんどん流してもらえないでしょうか。

(市長)

佐賀市は水路が毛細血管のように張り巡らされていて全国的にも非常に珍しいと言われていいます。近年は雨の降り方が極端になっていて、降らないときは全く降らずに水路の水量が極端に落ちるといふことや水路の様々な開発などによって、水路が流れにくくなっています。

6 たばこのポイ捨てについて

朝起きてゴミ拾いをしていますが、たばこの吸い殻がたくさん落ちています。金曜と土曜は特に多いです。このことについて把握しておいてもらいたい。

(市長)

私も、以前、エスプラッツ周辺のごみ拾いを一緒にさせていただいたことがありますが、たば

こは、人の目につかないところ、排水口などに捨てられていました。マナーの啓発についてもしっかりとやっていきたいと考えています。

また、ポイ捨て対策としては、今年度から特定美化地区を指定しました。ごみが多く散乱する場所、街なかであれば中央大通りや佐賀駅、それから、北のサンライズパークも含めた400ヘクタールの区域を指定し、地域の団体やボランティアの方にも協力してもらいながら、重点的に対策していきたいと考えています。

7 アーケードの照明について

アーケードの中に電気の暗いところがあってつけて欲しいと頼んでいるけど、対応されません。

(市長)

そのような御意見があったということを庁内で共有させていただきます。

8 どんどんどんの森について

図書館とアバンセの間の芝生部分は、雨が降ったときに水を溜めるような機能を持っているのでしょうか。以前、どんどんどんの森の周囲の川から水があふれて、道路が冠水していました。それから、どんどんどんの森は、一方通行になっていて車が周回するので、排気ガスをまき散らしています。あの敷地はあのようにならないといけないのでしょうか。

(市長)

どんどんどんの森の芝生部分は、調整池の機能も持っています。

それから、車の出入りについては、開発のときに地元の方々とお話しして決まったということです。

(総務部長)

大規模な開発をするときは調整池を作るようになっています。ここもある程度の広さがありますので、敷地内の水を溜める調整池の機能を持たせています。

また、車の出入りについては、交通事故を減らすために、車の通行を一方通行で周回させるということになったと伺っています。

どんどんどんの森に調整池の機能があるということですか。

(総務部長)

ここの土地を開発することによって、保水量が落ちます。この落ちた保水量をそのエリアで溜めようということとして、芝生部分はどんどんどんの森の中に関する調整池になります。

川や堀からあふれた水を、どんどんどんの森に引き込むということではないのですね。

(総務部長)

はい、そういう機能までは持ってないということです。

(市長)

平島地区や佐賀駅に至るまでの北側周辺は浸水しやすく、大雨の際は、道路の通行などにおいてもご不便をおかけしている地区の一つであると認識しています。

佐賀市は浸水対策の基本計画を作って、短期・中期・長期での対策をとってきておりまして、今年度、見直すことにしています。

令和元年や令和3年に災害をもたらした雨の降り方はいままでにありませんでした。

市が行ってきたこれまでの取り組みに加えて、国や県とも連携しながらできることを組み合わせることで被害等を軽減していきたいと考えています。

9 ライトファンタジーについて

バルーン大会のときに中央大通りでイルミネーションの点灯式をしていますけれども、あれはLEDの電球で全然きれいじゃありません。

ハウステンボスや博多駅前にもイルミネーションのきれいなところがあります。

LEDの電気で明るくなりますが、きれいではありません。明るいです。

(市長)

いろんな、受け止め方があるというふうに思いました。「明るくはなるけれども、それがどうなのか」という御意見ですね。そのような御意見があったことも含めて、担当部署と話をしたいと思います。

10 神野公園と多布施川の桜について

神野公園と多布施川の桜は枯れかかっています。佐賀市が管理をしてないからではないですか。

(市長)

桜は、植えた時期などいろんなことがあるかと思いますが、適切な管理をしていけるように取り組んでいきたいと思っています。

神野公園については、ちょうど、今リニューアルの検討をしているところです。その中で、桜も含めて自然を体験できるような公園となるように、よりブラッシュアップしていきたいと思っています。ご意見も踏まえて検討していきたいと思っています。

11 公園の砂場について

佐賀市内にあるあちこちの公園に、ブランコや滑り台はありますが、砂場がありません。

小さい子どもが遊ぶ砂場がない。それで、なぜ砂場が無いかを市の環境政策課に聞いたら、「砂場を猫がトイレにするから」と言われました。周りにフェンスを張って猫が入らないようにすればよいのではないですか。

(市長)

いろんな子どもたちの遊びの場、その環境が充実していくように、在り方についてよく考えていきたいと思っています。

12 佐賀の観光資源について

佐賀は何もないと言われていますが、佐賀の観光資源について、3点提案をさせていただきます。

まず、佐賀城の天守閣の建設についてです。今、本丸御殿がありますけども、やっぱり天守閣がないのでインパクトがありません。佐賀県のものかと思いますが、天守閣を作ることによって観光客の取り込みとか、佐賀人のシンボリック的存在になると思っています。

次に、佐賀駅前についてです。

昭和29年から41年の頃、佐賀駅前にグリコの「ゴールインポーズ」をした大きな塔がありまして、佐賀駅のシンボルになっていました。それはやっぱり佐賀のグリコの創業者の思いが込められていると思います。佐賀市とグリコでコラボして塔の再建とかできないでしょうか。佐賀には村岡屋や北島など菓子業者も多いです。企業とタイアップした「菓子ミュージアム」みたいなものを作るというのも面白いと思っています。

最後に、桜は他県と比べて非常に充実していると思います。整備などはされていますけども、もう一步踏み込んだ工夫があればよいなと思っています。例えば、石井樋から神野までの川下りを4月にするとか、旧佐賀線跡で観光人力車を走らせるなどしたら面白いなと思って、提案させていただきます。

(市長)

佐賀らしさを見つめ直す場合、「内側からの視点」と「外側からの視点」、両方の視点が必要だと思います。キラコンテンツは何なのか、佐賀の良さは何なのかということを考えて、それを「体験」という形で見せていくことが非常に大事なのかなと思います。

冒頭の説明の中で、公認観光アンバサダー（愛称：アンバサガー）といった施策をお話ししましたが、「佐賀の良いところ」を発信する一つの「ツール」だと思っています。我々自身も、佐賀のよさというものをもっと考えて、我々の良いと思っていることを、来ていただいた人にどう「体験」として届けるのかということをもっと商品化していく。そういうことも大事だと思っています。

佐賀城などのすばらしい「佐賀の歴史」もありますので、そういったところも、一つの観光コンテンツだと考えています。

グリコの創業者の方は蓮池の出身です。牡蠣の煮汁から「グリコゲン」を抽出して、それが健康につながるということで商品化されたということです。

今の「SDGs」を先行しているような起業家が佐賀から生まれてきています。そういった先進的な起業家がたくさん生まれた佐賀というものも売りにできるかもしれません。

そういったところは、これからの時代に、新しいことをやろうとしている方にとっても励みになると思いますし、佐賀のほかの県にはない、ユニークさというものをうまく見せていけたらと思います。

それから旧佐賀線跡の「さくらロード」も、北川副では、「桜まつり」をまちづくり協議会が主催して開催していただいています。そういう、「桜のきれいな町」というのも非常に良いアイデアだというふうに思いました。参考にさせていただきます。

13 河川清掃について

今、カナダモ、オオカナダモが非常に増えていて、川が流れにくくなった。川掃除を年に2回していますが、参加者が少なく、若い方でも責任持って対応する人がいません。

それと、会社のそばを流れている川に対して、その会社が何もアクションを起こしていません。

(市長)

河川清掃の参加者が高齢化をしていて若い人の参加が少ないということは、課題であるというふうに思っております。

佐賀市は、「川を愛する週間」を昭和56年からやっています、全国的にも非常に熱心にやっています。いろいろな形で、次の世代にも地域コミュニティの取組に参加してもらうほか、企業のみなさんにも協力していただくことが重要になってきていると感じます。今年度からは、企業や学校に「河川清掃に協力する」企業パートナー制度を導入したいと思っています。

こういった制度で、企業や学校が活動に参加する「モチベーション」や「きっかけ」につなげていきたいと思っています。

14 山間部のバスの利便性について

佐賀の北山あたりに行くバスが、コミュニティバスになってしまって不便になりました。

私は嘉瀬川ダムができる前から、銀河大橋のところの菖蒲御前で食事をして下ってくるのが楽しみで、年に12回以上歩いたと思います。だけど、富士町に行くバスが不便になって、行くことができていないというのが現状です。周回バスを市営バスでできないのでしょうか。

また、嘉瀬川ダムには、どじょうなどといった水棲生物がほとんどいません。琵琶湖では、産物として売っている。地域の活性化と人が来て金を落とす方策として私は必要じゃないかなと思っています。

(市長)

地域における公共交通は、「運転手の不足」や「赤字の拡大」などによって、非常に厳しい状況にあるというふうに思っております。そういう中でも、うまく持続させていくことが大事であって、公共交通のネットワークをどうしていくのかということのを計画的に考えていくことにしています。

今年度は、他の民間バス会社も含め地域の公共交通の在り方を議論するような機会を作りたいというふうに考えています。

山間部は、キャンプに人気が出ていたり、新しく、富士しゃくなげ湖に水上競技場ができたりしています。そういった、今ある資源を活用していきながら観光にもつなげていきたいと考えています。今年の補正予算案では、古湯温泉の立ち寄り湯キャンペーンもやっていきたいと思っています。いろいろな形で山間部の観光に力を入れていきたいと考えています。

15 佐賀の観光について

日新小学校の敷地内に反射炉があることを市長はご存知ですか。学校は通常、安全面から校門を閉めていますので、日新小学校の校門の中に反射炉を作らず、佐賀城跡の歴史博物館の横に設置すればよいのではないですか。あそこは観光バスも来ます。観光バスが来るようなところに作っ

てもらいたいと思います。

(市長)

私も日新校区で育っていきまして、日新小学校にはよく行っていました。

反射炉が「日新から始まった」ということにもございます。佐賀の魅力あるものを、たくさんの人にどう伝えていくのかというご意見だと思っています。多くの方に佐賀の魅力が伝わる方法について考えていきたいと思っています。